



交流拠点都市
美祢市
MINE CITY

みね 議会だより

第36号 令和2年(2020年)9月1日発行



大嶺町民講座「厚狭川たんけん」8月2日開催

主な内容

- 審議された議案等 2
- 委員会報告 3～5
- 一般質問 6～15
- 9月定例会の日程・編集後記 16

令和2年第2回(6月)定例会

会期 6月16日～7月7日(22日間)

第2回定例会は、6月16日に開会し、補正予算案や条例改正案等24議案について審議しました。今年度当初予算は、市長選挙実施に伴い、人件費や扶助費等の義務的経費や施設管理費などの経常的経費を中心とした骨格予算であったため、本定例会において政策的経費を追加した補正予算案が提出されました。

また、7月7日に、新型コロナウイルス感染症対策に係る財源確保のため、6月17日に議会から市長へ申入れを行ったことに伴う補正予算案が追加提出されました。

審議された議案等

予 算 (7件)

- 令和2年度美祢市一般会計補正予算(第3号)
- 令和2年度美祢市病院等事業会計補正予算(第2号)
- 令和2年度美祢市一般会計補正予算(第4号)
- 令和2年度美祢市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和2年度美祢市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- 令和2年度美祢市観光事業会計補正予算(第1号)
- 令和2年度美祢市一般会計補正予算(第5号)

条 例 (13件)

- 美祢市行政組織条例及び美祢市職員定数条例の一部改正について
- 美祢市地域交流ステーションの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 美祢市鳳鳴地域交流センターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 美祢市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 美祢市手数料条例の一部改正について
- 美祢市立小学校設置条例の一部改正について

- 美祢市税条例の一部改正について
- 美祢市長等の給与に関する条例の一部改正について
- 美祢市都市計画税条例の一部改正について
- 美祢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 美祢市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について
- 美祢市国民健康保険条例の一部改正について
- 美祢市国民健康保険税条例の一部改正について

人 事 (3件)

- 美祢市教育委員会委員の任命について
- 美祢市農業委員会委員の任命について
- 美祢市監査委員の選任について

そ の 他 (1件)

- 美祢市過疎地域自立促進計画の一部変更について

上記すべての議案について
原案可決しました

委員会報告

審議された主な内容

総務
企業

○令和2年度美祢市病院等事業会計補正予算(第2号)

新型コロナウイルス感染症に関する特殊勤務手当の支給、透析患者送迎サービスの創設、機器更新などに伴う補正予算

- ・新型コロナウイルス感染症に感染する危険性のある業務に従事する医療従事者に対して特殊勤務手当を支給 147万2,000円
- ・市立病院透析患者送迎サービスの創設に伴う受託タクシー会社利用の場合の運賃助成金を支給 1,238万8,000円
- ・ポータブル超音波診断装置及びモニターの整備 847万円
(新型コロナウイルス感染症の陽性患者をできるだけ移動させることなく対応するため。)
- ・美東病院のCT・MRI等を設置している放射線部門撮影室系統の空調の更新 547万8,000円

○議案第56号 美祢市地域交流ステーションの設置及び管理に関する条例の一部改正

於福・厚保地域交流ステーションにおける施設利用料金を1時間単位に改めることに伴う条例の一部改正

区 分		利用料金
於福地域交流ステーション	会議室	1時間につき 150円
	和 室	1時間につき 30円
厚保地域交流ステーション	会議室	1時間につき 150円
	和 室	1時間につき 30円

(備考) 市内団体活動や教育・保育活動などに対する利用料金の減免は従前のとおり。主たる使用者が市民以外の者である場合は1.5倍に相当する額。営利・営業等を目的とする場合は2倍の額。

○議案第54号 令和2年度美祢市観光事業会計補正予算(第1号)

5,236万円

- ・秋芳洞バスターミナル改修
現在バスセンターの上側にある貸し切りバス駐車場を下の方でも乗り降りできるようにしようというもので、今年度実施計画を策定し来年度改修工事を行います。
- ・秋芳洞通路改修
今年度実施計画を策定し、令和3年度以降5ヶ年かけて通路の改修を行います。
- ・エレベーター内部のコンクリート劣化部改修工事
今年度閑散期に実施予定であったが、現在、新型コロナウイルス感染症対策でエレベーターの営業を中止しているため工期を調整して実施します。

○美祢市立小学校設置条例の一部改正について

重安小学校 PTA から要望書の提出を受け、令和 3 年 3 月 31 日をもって重安小学校を廃止し、大嶺小学校へ統合することに伴う条例の一部改正

問 閉校後の児童の通学支援と跡地利用は？

答 今までの統合再編時の通学支援は、ほぼスクールバスの運行をしています。
跡地利用も含め、今後、地域の方々の希望をお聞きしながら協議してまいります。



重安小学校

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルス感染症への対策経費など、緊急に必要な経費を追加
補正額 1 億 1,567 万円

- ・商工業活性化事業として、プレミアム付商品券発行事業や市内事業者への支援範囲を拡大するもの 9,483 万円
- ・災害時、避難所にて使用する段ボールパーテーションや段ボールベッド、非接触型体温計などの購入 189 万 4,000 千円

ポイント

プレミアム付商品券の割増率を 10% から 30% に引き上げます。
また、小売業者や生活サービス事業者及び学習支援事業者において感染拡大により売上が前年度同期 20% 以上減少した事業者に対し、上限 20 万円を給付し支援を行います。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第4号)

市長就任に伴う政策的経費や投資的経費を追加するための補正予算(肉付け予算)
補正額 4 億 5,593 万 8,000 円

- ・移住・定住に関する支援 1,330 万円
空家の活用の推進、市内転入者の住宅取得に対する補助、結婚・新婚生活支援事業として開催する婚活イベント等への支援
- ・市民の健康寿命の延伸を図る「みね健幸百寿プロジェクト」の実施に向けた準備経費 120 万 2,000 円
- ・児童生徒に 1 人 1 台のタブレット端末を整備する GIGA スクール構想に係る整備費用 5,720 万 6,000 円
- ・小中学校(市内一部)に防犯カメラを設置する工事費用 319 万 8,000 円
- ・将来の図書館のあり方を検討するための整備基本構想の策定に係る経費 254 万 2,000 千円
- ・博物館等の将来構想を検討する経費 20 万 1,000 円
- ・市長任期中の給料月額を 2 割減額 △ 143 万円

ポイント

小中学校における1人1台のタブレット端末整備（GIGAスクール構想）

今や、仕事でも家庭でも、社会のあらゆる場所でICT（通信技術を使って人とインターネット、人と人が繋がる技術）の活用が日常のものとなっています。社会を生き抜く力を育み、子どもたちの可能性を広げる場所である学校において、ICTを適切・安全に使いこなすことができるよう情報活用能力を育成するものです。

○令和2年度美祢市一般会計補正予算(第5号)

新型コロナウイルス感染症の影響拡大に対して緊急に必要な経費を追加
補正額 5,497万5,000円

- 新生児臨時特別給付金給付事業 800万円
国の特別定額給付金（国民一人あたり10万円支給）の対象とならない令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児に対して、美祢市の独自策として10万円を支給し支援を行う。
この財源は、議会だより8月号でお知らせしました美祢市議会関連予算を削減し活用していただいたものです。
- ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業 3,015万6,000円
国の第二次補正予算に呼応した低所得のひとり親世帯に対して給付金を支給
- 新型コロナウイルス感染症対策のための消耗品購入費や学校再開に伴う感染症対策、及び学習保障等に係る経費を追加するほか、準要保護児童・生徒への臨時休業中の給食費相当額の支援 2,068万8,000円

議会まめ知識

1 市議会議員とは？

市議会議員は、4年ごとに行われる選挙で選ばれる市民の代表です。

議員になれる人は25歳以上、選ぶことができる人は18歳以上の市民と決まっています。

市議会議員の定数は条例で決められており、美祢市の定数は16人です。

2 議会はいつ開かれる？

市議会は、いつも開かれているわけではありません。

決まった時期に開かれる議会を「定例会」といいます。

美祢市では条例で、1年間に4回（3月、6月、9月、12月）開かれます。

また、定例会以外に、急に話し合いが必要なおきに開かれる議会を「臨時会」といいます。





(日本共産党)
やました やすのり
山下 安憲 議員

1

新型コロナウイルス感染症が収束していない中、児童生徒の学び心身のケア、安全確保について

問 各学校において、どのような感染症防止策を講じていますか？

答 国のマニュアルやガイドラインに沿い、マスクの着用と手洗いやアルコールによる消毒、咳エチケット、十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事を心がけるように指導をしています。

問 20人学級を実現するために、教員を増やすことはできませんか？

答 すぐに20人学級を全て実施することは困難ですが、教職員の数を増やすことも含め、今後検討したいと思います。

問 休校による授業の遅れや学力格差にどう対応していますか？

答 授業の遅れは、夏休みを短縮して授業日を設定します。学力の差という課題には、1人1台に配備予定のタブレット端末を使って個別最適化学習を行う通信環境の整備を行っているところです。

休校中には、課題や授業動画をMYTで放映、一部パソコンによる授業配信を行いました。

問 美祢市の小・中学校では、部活等における代替大会や代替コンクールの現状はどうですか？

答 現段階で、運動部においては、山口県中学校体育大会が今年度も開催予定と聞いており、その予選となる市内大会も夏期休業中に開催予定です。今後、山口県中学校体育大会が中止となった場合でも予選大会を実施し、3年生最後の活躍の場とする予定です。

文化部については、取組の成果を発表する場

として、各学校の文化祭や各地域の行事等での発表が可能であれば、MYTでの撮影・放映等も考えられます。

問 児童生徒が在校中に被災した場合、災害発生時における初動からの流れを教えてください。

答 児童生徒が学校にいる状況で学校が避難所となるような大規模災害が起こった場合には、児童生徒の安全を守るという観点から、まずは避難所となっている学校に待機させ、安全が確保された段階で、保護者に一人一人を確実に引き渡すことが必要と考えています。

保護者への引き渡しにあたっては、新型コロナウイルス感染症への感染予防の視点から、学校を避難所として避難してくる地域住民の動線と分けることなどを各学校に指示し、学校の危機管理マニュアル等に記載されるとともに、教職員への周知を徹底してまいります。

問 美祢市の児童や生徒をどう未来に導いていくか、市長の思いをお聞かせください。

答 児童生徒の未来のため、教育の充実が鍵となります。そのため、子どもたちが郷土の自然や文化に誇りと愛着を持ち、それらを継承・発展させようとする心と態度を育ててまいります。



市内中学校夏季体育大会



(純政会)

つばい やすお
坪井 康男 議員

1 美祢観光開発(株)の令和元年度収支実績の評価について

問 初めての民間出身社長の下での令和元年度出資実績の評価についてお伺いします。

答 民間人社長の就任で、温泉の開場時間を10時から11時へと1時間遅らせることによる燃料代(灯油代)の節約額400万円や、レストラン部門の原価率の低減(52%から39%)での仕入れ値の低減額500万円など、合計900万円近い収支の改善が行われた点は評価しています。

しかし、道の駅おふくの使命である『地域や市民とともに協調・協力体制の下で道の駅の発展を目指す』という事業推進目的に関しては、今後検討すべき余地があると評価しています。

問 篠田社長在任中の平成27年から平成30年度の4年間に、灯油購入代全額に相当する金額を指定管理料として市から受け取り、同額を道の駅おふくの売上高に計上しているのは、企業会計原則に反する不適切な処理ではないでしょうか。

答 美祢市が平成28年度から指定管理料の支払基準を変更して、【総収入－総経費】のマイナス分を指定管理料とすることにしました。そのため、指定管理料は、受取先の事業全体に対するものであるため、売上高に計上することは問題ないと考えます。

問 篠田社長在任中、その経営にはタッチせず、社長としての「善管注意義務」を怠り、市から6,800万円もの指定管理料をもらいながら、職員には1,800万円のボーナスを支給していました。

この点についてどうお考えでしょうか。

答 通告書に記載がなく、かつ道の駅おふく内部の問題であるとの理由で答弁はありませんでした。

2 美祢農林開発(株)の経営統合問題

問 平成19年起業からすでに10年を超え、既に5億円近くの公金をつぎ込んでいますが、何の成果も得られていません。今後、同社をどのようにしようとしているのかお伺いします。

答 新社長の体制下で、経営統合等を含めてしっかり検討し、適切に対応してまいります。

3 地方自治体におけるパワハラ問題について

問 本市における対応についてお伺いします。

答 パワハラ問題については、研修会の開催等により、適切に対応することとしています。



道の駅おふく



(純政会)
あきえだ ひでとし
秋枝 秀稔 議員

1 十文字原への企業誘致の今後の動向について

問 十文字原事業用地は、さまざまな企業が立地について調査をしたということを知っていますが、現在どうなっているのでしょうか。

答 興味を示された企業も数社ありましたが、具体的な協議までには至っていません。

2 本庁舎建設の見直しについて

問 市長は、新築部分の事業費を20億円程度とし、延べ床面積は必要最低限とするという方向性を示されました。20億円という具体的な根拠についてお伺いします。

答 これからの人口減少社会を見据え、可能な限りの事業費の削減を検討する必要があります。

現在の建築単価は48万円/㎡で、約4,200㎡の庁舎が確保できます。また、近年建築された他市の事例からも20億程度で建築できると考えます。

問 再検討指示事項の中に、社会福祉協議会の敷地内複合化をしないとありますが、住民の利便性を考えれば同じ敷地内にあるのがベストではないでしょうか。

答 社会福祉協議会から、スペース的にも今の場所がいいと聞いています。

問 分散している市役所を1か所に集めて市民の利便性向上を図り、新生美祢市のシンボルである庁舎を建設し、空いた敷地に企業を誘致するなど、60年に一度のまちづくりのチャンスです。

補助が大きい合併推進債を利用して、今、思い切って投資しないことで将来に禍根を残すことはないのでしょうか。

答 平成30年4月に策定した美祢市財政計画における本庁舎整備の事業費は43億円を見込んでいましたが、これから新たに各種施設整備が見込まれ、厳しい財政運営を強いられることが想定されます。本庁舎建設の事業費を縮減し、今後の財政負担の軽減に努めます。

3 福祉バスの運用方法について

問 路線バスとジオタクシーの運行状況や事業費についてお伺いします。

答 市内で運行されている路線バスは、6事業者とあんもないと号の7種類のバスで公共交通網を形成しています。

バス事業者には令和元年度実績で約1億円の補助金を交付し、のりあいジオタクシーの令和元年度事業費は約3,000万円です。これらの財源は8割程度が特別交付税で措置されます。

問 路線バスとジオタク事業と福祉バスの3つの整合性についてお伺いします。

答 自立した日常生活の支援のためには、地域の実情に応じた柔軟な移動手段の確保が重要です。

公共交通網が担う範囲には限界があり、福祉団体等の多様な実施主体による福祉バスを考えています。

4 秋吉台国際芸術村の今後について

問 存続について約1万8,000筆の署名が県と県議会に提出されました。何か新しい動きがあればお伺いしたいと思います。

答 県において、市との協議は一旦中止とし、新型コロナウイルス感染症対策に係る支援が終了した時点の社会経済情勢等を考慮した新たな見直しの方向性を検討していくこととされています。

問 市の振興発展につながる今後の存続に向けた対策についてお伺いします。

答 秋吉台国際芸術村は、当時の秋芳町及びその関係者の方々の並々ならぬご尽力により建設されたことや、利用されている市民の方々の意見も踏まえて県と丁寧に協議を進めてまいりたいと考えています。



(無所属)
な お の とも か ず
猶野 智和 議員

1 秋芳ロイヤルホテル秋芳館の今後について

問 この件についての経緯、現状、そして市として、今後どのように対応されるのかお尋ねします。

答 当ホテルは、破産手続開始の決定がなされ、現在、破産管財人が選任され、今後、会社財産の処分が任意売却を中心に進められ、場合によっては競売による資産売却もあり得る状況です。

本市におきましては、当宿泊施設の存在は非常に大きなものがあります。また、もしも廃墟化すれば景観・防犯上大きな問題になると強く認識しています。

長門市の事例を選択肢の一つとして参考にしたいと考えますが、本市の場合は土地の地権者が破産した会社とは別であり、同じ手法を取れるかは一概に言えません。しかし、新たな事業者継承されていくよう、できる限りの努力をしております。

2 秋吉台科学博物館の整備について

問 秋吉台科学博物館の整備を推進することについてお尋ねします。

答 現在、美祢市立博物館等施設将来構想検討委員会において検討されていますが、本年度も引き続き協議を行います。

一方では、膨大な整備費用を要するなどいくつもの高いハードルがありますが、市長として新たな秋吉台科学博物館の整備を着実に進めます。

3 県との連携について

問 秋吉台国際芸術村と秋吉台青少年自然の家^{（注）}の現状と今後についてお尋ねします。

答 新型コロナウイルス感染症の影響で、県は市との協議を一時中止するとの判断を示しました。

市としては、県の新たな見直しの方向性の検討状況等について逐次情報収集し、丁寧に協議を重ねてまいります。

問 美祢高等学校跡地についてお尋ねします。

答 毎年、知事への県予算等に対する要望等の場におきまして、申入れを行っているところです。

これに対し、県からは「適切な維持管理に努める」との回答を得ています。

今後も県に対して、用地の適切な管理処分について求めてまいります。

問 市内河川の浚渫工事についてお尋ねします。

答 市民の暮らしの安全と安心の確保は喫緊の課題であることから、県へ継続して浚渫工事を実施していただくよう、引き続き要望します。

また、市が管理する河川についても浚渫工事を計画的に実施します。

4 秋芳地域における広報・防災ネットワークについて

問 秋芳地域における広報・防災ネットワークについてお尋ねします。

答 秋芳町有線につきましては、老朽化が著しく代替部品の確保が困難なため、修繕が不可能となっています。

このことから、安全・安心メールの登録について、地域住民の皆様へお願いしているところです。このサービスは、気象・避難情報をはじめとする防災情報や交通安全情報等が外出先でも迅速かつ確実に配信されます。

登録に際しご不明な点等がございましたら、職員が登録のお手伝いをしますので、お気軽にお問い合わせください。



(みらい)
むらた ひろし
村田 弘司 議員

1 現状を見据えた美祢市の未来をどう創っていくか

問 市長とは、大きなビジョンを持って、そのビジョンに向かい、政策の柱を示し、市の未来を創っていくという仕事だと思いますが、新市長となられてどのような政策をお考えか、お伺いします。

答 子どもが生まれ続け、人口が減少せず、誇りをもってこの地域を残すことが活性化であり、私の政策の柱です。

問 それでは、市長になられて初めて予算編成された今回の大型(肉付)補正予算に、市長の言われた政策の柱がどのように反映されているかお伺いします。

答 具体的に言えば、いつまでも安心して健康で暮らせるまちにしたい、そのために「健幸百寿プロジェクト」を開始することとしました。

また、公設塾の設置が、児童の実態、保護者の要望、教育のあり方に波及すると考えております。

問 政策・施策を具現化するためには、予算が必要だと思いますが、その視点で見ると、今の説明では分かりづらいと感じます。何らかの理由があるのでしょうか。

答 予算の制約があることと、来年4月に向け、組織・人員がコンクリートされた中で、濃淡がつきにくかったというのが実情です。

問 予算の制約があると言われましたが、今回の補正予算には、本庁舎及び2つの総合支所、さらには3つの図書館や秋吉台科学博物館の建替関連予算、いわゆる「箱物」に係るものが多く入っていますが、予算の使い方としてソフト面の充実も大事だと思います。

特に、本市にとって人口減に対処することの重要性が喫緊の課題ということは、市長も共通認識をお持ちだと思います。

現在、東京は人口が増え続けていますが、不思議なことに出生率は全都道府県の中で最低です。このことは、人口増減の主要因は人の流入の時代になったことを表しています。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で、地方に住もうという意識が高まっていますが、この受け皿になれるかどうかで本市の未来は変わってくると思いますし、この準備をいかに早く対応するかにかかっていると考えますが、どう思われますか。

答 移住・Uターンの総合窓口の必要性があると思います。観光を含め、官民挙げて取り組まなければ、人口減少対策は難しいと思います。

問 コロナ禍により、オフィスを家賃の高い大都会に置く必要性を再考する企業が増えています。この機を逃さず、サテライトオフィスの誘致を考えられないでしょうか。

答 情報政策を組み立てるための調査に係る補正予算を今後計上します。情報政策部署を統合し、サテライトオフィスを含め、美祢市の優位性を発信できる地域にしていきたいと思います。

問 サテライトオフィスにしる、ベンチャー企業にしる、社員の住居が必要だと思います。本市の空き家を市が借り上げ、格安でお貸しする等の環境を整え、情報発信していくことが大事と思いますが、いかがでしょうか。

答 本市には、使える空き家がたくさんありますので、移住・定住に使えるか検討したいと思います。

問 地方に住みたい大きな理由の1つに、農業に携わってみたいという調査結果があります。そのためにも、大きな被害の出ている有害鳥獣対策に力を注ぐことが必要と考えますが、いかがでしょうか。

答 農業は本市のアドバンテージであり、移住政策の中で大きな柱であると思います。このことを検討し、抜本的に政策を見直したいと思います。



(公明党)

おかやま
岡山たかし
隆 議員

1 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校教育の改革等に関して

問 本市では、国において進められる「GIGAスクール構想(※)」の事業が年度内に実施されます。課題についてお尋ねします。

(※児童生徒に1人1台の学習用端末と、活用可能な校内通信環境を一体的に整備する事業。)

答 国において、新型コロナウイルス感染症に伴う学校の臨時休業により、緊急時においてもICTを活用することで、子どもたちの学びの保障ができる環境を整える必要性があることから、当初の計画が見直されました。

本事業を進める上での課題として、

- ・全国一斉に事業が進められるため、年度内にすべての整備が可能かどうか。
- ・Wi-Fi環境がない家庭の子どもたちへどのようにアプローチし、学習環境を整えていくべきか。
- ・端末の使用により発生するトラブルへの対応。
- ・すべての教員が十分に使いこなせるまでに時間が必要である。

といったことが挙げられます。

2 過疎地域の高齢者が喜び安心できる地域デマンドバス運用に関して

問 高齢者の生活移動手段として、自宅から目的地をつなぐ「のりあいジオタクシー」が8地域で運行されています。

さらなる利便性の向上を図るため、赤郷地域では、スクールバスの空き時間を活用し、住民主体の取り組みで走るデマンドバスの実証運行が行われています。

交通事業者運行エリアとのすみわけに関して問題はなにかお尋ねします。

答 本市の公共交通機関は6社のバス事業者、3社のタクシー事業者、鉄道事業者の協同により構築されています。

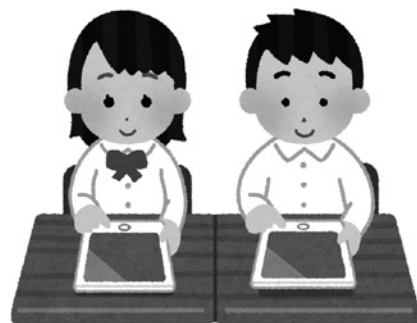
赤郷地域での取り組みは、地域の意向を踏まえ、公共交通網で影響が想定される地区をジオタク運行エリアから外し、地域が一体的に担う方針で調整を進めています。

路線バスでは、バスの運行時間に合わせ、最寄りのバス停での乗り継ぎ、利便性の向上へ配慮した運行を計画するなど、効率的に全ての関係事業者が共存できる方策を進めています。

3 障がい者の就労を守るための工賃確保に関して

問 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、市内障がい者就労支援施設への作業受注が激減し、工賃が3分の1から4分の1程度まで減少しています。市として支援拡充や発注量を増やすなど、何らかの対応を考えておられるのでしょうか。

答 市として、障害者優先調達推進法により、各所属長にこれらの施設に優先して発注するよう指示しています。年間270万円程度の発注実績がありますが、改めてどのような支援策が出来るか、検討してまいります。





(新国会)
たかぎ のりお
高木 法生 議員

1 新型コロナウイルス感染症の予防・感染拡大に向けた対策について

問 新型コロナウイルス感染症は、昨年12月、中国武漢で発生以降、全世界に広がりを見せ、危機的な状況を人類に及ぼしています。

本市においては、新型コロナウイルスの感染者は発生していませんが、市民の生命、暮らし、健康など生活全般を脅かす新型コロナウイルス感染症の予防及び感染防止に向けた対策についてお伺いします。

答 本市では、市民や事業者の皆様のご協力により、感染者を一人も出していないませんが、新型コロナウイルス感染症対策本部を立ち上げ、国内や県内での感染状況の情報に応じて、様々な感染症への対応をしているところです。

今後、第2波・第3波の襲来が予測されますので、手洗いの励行、「3密」を避ける、人と人の距離をとるなど、感染拡大を防止する「新しい生活様式」等を活用した感染防止対策を徹底したいと考えています。

2 病院行政について

問 今後の市立2病院をどう位置づけているか、存続についてお伺いします。

答 市立2病院は、次の3つの理由から必要であると強く思っています。

1つ目は、医療面における必要性です。

へき地であり、かつ広い面積をもつ本市として、病院の中心的な役割は入院医療の提供です。

市立2病院での治療可能な1日当たりの一般病床の入院患者数は155人とされ、この医療需要に対応できる体制の整備は必要です。

また、救急患者、市外の専門病院からの紹介患者等の急性期から回復期を経て退院まで、医療的な管理を慢性期の医療まで切れ目なく提供しています。

このことが、市民の安全・安心につながっていると考えます。

2つ目は、雇用・産業面での必要性です。

全国的にも医療・福祉分野が地域の雇用を支えていると言われている中で、本市病院事業局の就業者は300人を超え、業務委託を含めればさらに増えてきます。このことは、市内の経済の循環をつくりだしていることとなります。

また、病院への繰出金の相当部分は地方交付税で措置されており、国を通して都市部の税を病院を持つ地方へと資金供給されていることになり、税の再配分の方法として、病院設置は極めて意義のあることだと考えます。

3つ目は、地域づくり・まちづくりの面での必要性です。

市立2病院は地域の中心的存在であり、安心・安全の拠点、雇用の拠点であることの帰結とも言えますが、さらに地域づくりの出発点として、その利活用のあり方を探っていくべきと考えます。

この3つの理由により、市立2病院を存続すべきと考えます。

このことは、市民の皆さんが総合診療の実践を深めていく市立2病院をできるだけ利用していただくことが、病院存続の大前提であることをご理解いただきたいと思います。



美祢市立病院



(日本共産党)
みよし むつこ 議員
三好 睦子

1 新型コロナウイルス感染症対策について

問 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国一斉に小・中学校等が休校となりました。遅れた分の授業は、夏休みを短縮して行われます。

この間の学校給食の提供は、児童・生徒・保護者の切実な願いです。

近隣周辺の市は、この期間中、学校給食を提供されるのですが、本市も学校給食を提供すべきです。お考えをお尋ねします。

答 夏休み短縮期間中の学校給食が提供できない理由として、

①現施設の構造が、学校給食衛生管理基準に合致していないこと。

②全ての調理場において空調機の設置がなく、高温多湿。室内温度は30℃を超えており、火を使う作業や洗浄作業は、それ以上の環境になること。

③空調機を全ての調理場に設備する場合、高圧受電設備が必要な調理場もあり、全体では1億円以上の経費が必要なこと。

④共同調理場から給食を運ぶ配送車も、全てが保冷庫付きの車両でないこと。

⑤各学校の配膳室においても空調機が未設置で、配送後の環境が十分でないこと。

以上があげられますが、早めの改善について、今後も鋭意努力したいと考えています。

2 閉校になった校舎の活用について

問 政府は、「避難所における新型コロナウイルス感染症へのさらなる対策について」とする通知を出しています。

新型コロナウイルス感染症に加え、豪雨・台風等の災害への備えが必要です。

避難所は、3密を防ぐものでなくてはなりません。そのために、閉校になった校舎の活用が求められますが、お考えをお尋ねします。

答 閉校となった学校施設は、ほとんどが地域のコミュニティセンターとして活用されており、避難所に指定されています。

災害発生時の避難所における新型コロナウイルス感染症対策に係る対応については、これまでの避難所の運営・開設状況に鑑み、国等からの通知やガイドラインに基づいて、現在マニュアルを作成しています。それを避難所開設担当者等へ周知徹底して、万全な体制を整えているところです。

3 市民の健康維持について

問 新型コロナウイルス感染症にかからないための対策として、免疫力をつけること、健康維持などが重要です。

市民への指導状況と保健師の増員について、お尋ねします。

答 平成28年度から第2次美祢市健康増進計画「いきいき健康みね21」を策定して、保健師が出前講座も行うなど、免疫力や健康増進に取り組んでいます。

今年度から、市民の健康寿命を延ばすことを目的とした「みね健幸百寿プロジェクト事業」にも取り組みます。

なお、保健師について、必要があれば増員も図っていきたいと思っています。



綾木小学校授業風景



(無所属)

たはら よしひろ
田原 義寛 議員

1

新型コロナウイルス感染症に基づく、美祿市の「新しい生活様式」支援について

問 小中学校における遠隔授業について、義務教育として、どのような支援をしておられるかお尋ねします。

答 学校休業が行われた際に、子どもたちの学力保障をどうしていくのか、あるいは年度のスケジュールがきちんと決まっている中で、授業をどのように展開していくのかとなり、今年中に、全学年に1人1台の学習端末を配布できるようにしています。

課題としては、市内小中学生の1割程度の家庭にWi-Fi環境がありません。

学びを保障していく上で、この課題について解決に向かって取り組んでまいります。

問 保育園におけるオンラインによる保護者とのやり取り、また地域集会所については、地域包括ケアシステムを踏まえたオンライン検診等に活用するため、ICT環境を整備されることを考えておられますか。

答 本市の公立保育園については、インターネットに接続できる環境がありません。よって、効率的な働き方や保護者に対するお知らせなど、ICTを活用したサービスの提供ができていないという現状があります。

これらの諸問題の解決に向け、保育園におけるICT環境の整備の必要性は強く感じています。

集会所におけるWi-Fi等の公衆通信環境の整備については、市が直接、環境整備を行うことは困難であると考えています。

集会所の施設整備に対する補助事業等、コミュニティ活動を支援する事業は各種ありますので、それらの活用についてご相談いただければと思います。

問 野外観光の推進及び密にならない宿泊施設の支援について、どのような取り組みをされているかお尋ねします。

答 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、外出等自粛制限が長く続いたこともあり、また感染予防の観点からも野外での観光に関心が高まっていると認識しています。

そこで、本年5月22日から秋吉台国定公園においてセグウェイツアー in 秋吉台を催行しています。このツアーでは、秋吉台の成り立ちや広大なカルスト台地の地下にある秋芳洞、また秋吉台上の草花や昆虫等の説明を行っています。

セグウェイツアーは、さまざまな皆様に秋吉台地域の自然を知って、楽しんで、そして自然に癒されたいことを念頭に置いて企画したものです。市民の皆様にもぜひ御体験していただきたいと考え、特別料金も8月末まで設定しています。

宿泊施設については、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、ワークとバケーションを組み合わせた「ワーケーション」という新たな働き方が注目されているところから、ゲストハウス等をベースにしたワーケーションの取組みについて検討し、宿泊施設の支援、人口定住や新たなゲストハウス等の開業につながっていけばと考えています。



セグウェイツアー in 秋吉台



(みらい)

藤井 敏通 議員

1 選挙公約の実施に向けての優先順位について

問 市長は、選挙公約で”やりたいこと、やらなければならないことは山ほどある!!”と宣言され、数多くの公約を掲げられて当選されましたが、政策の柱となるべき最大の課題は何であるとお考えですか。

答 著しい人口減少と著しい少子化と捉えています。

問 人口減少対策を講じる場合に「自然的な減少対策」と「社会的な減少対策」を分けて考える必要があります。出生数を増やすことと転入者を増やすことです。具体的にどのような施策を講じられようと思われませんか。

美祢市でも子育て支援策を講じられていますが、一足早く人口減少対策に取り組み、一定の成果を上げている阿武町では、経済的支援だけでなく地域で子育てを応援しようと、積極的に町民が参加しています。

このようなソフト事業が重要だと考えますがいかがでしょうか。

答 ソフト対策が大事であり、住民同士の距離感が近いというメリットは美祢市でも生かしていきたいと思えます。

2 第2次美祢市総合計画について

問 第2次美祢市総合計画が今年の3月に公表されました。この計画は前市長のもとで作成されたものですが、篠田市長はどのように位置付けられていますか。

答 総合計画は、美祢市が目指すべき将来像やまちづくりの基本理念を市民が共有する市の最上位計画と位置付けられているもの

です。

この総合計画に基づいて市政を運営していきたいと考えています。

問 第2次美祢市総合計画の特徴は、表紙に“若者・女性・地域がかがやき こどもの笑い声が響く「誇れる郷土・秋吉台のまち」とキャッチフレーズが明記してあります。ぜひ、このように「誇れる郷土・秋吉台のまち」となるようにしっかり計画を推進してください。

せっかくの計画も実行しなければ単なる作文です。実行し成果を出すためには、しっかり責任者を決め、いつまでにやるというスケジュールを決めて実行することが大事だと思いますが、いかがお考えでしょうか。

答 計画の進捗管理については、行政評価を市長の責任において毎年実施します。

その結果を予算に反映させるローリング方式を実施してまいります。

2 まとめ

市長より

(1) 市政の最優先課題を人口減少対策と位置づけその為の具体策を積極的に講じていく。

(2) 第2次美祢市総合計画(誇れる郷土・秋吉台のまち)を市長の責任においてしっかり実行していく。

との返答をいただきました。



第二次美祢市総合計画

議会を傍聴してみませんか

美祢市議会では、本会議、委員会を公開しています。

会議の当日、市役所3階議会事務局で、傍聴人受付簿に記入するだけの簡単な手続きで傍聴することができます。

市政のことをよりよく知るためにも、ぜひ、議会の傍聴にお越しください。

< 傍聴の際に守っていただくこと（抜粋） >

- ・傍聴席での飲食、喫煙は禁止です。
- ・声を出したり拍手をしたりしないでください。
- ・許可なく撮影、録音はできません。

【お問合せ先】 ☎ 759-2292 美祢市大嶺町東分326-1
美祢市議会事務局
TEL:0837-52-1117
FAX:0837-52-1180
MAIL:gikai@city.mine.lg.jp



美東中学校テニス部



市民の皆さん、ぜひ傍聴にお越しください。
(9月1日(火)議会運営委員会
日程決定)

日程	時間	内容(予定)
9月 8日(火)	10:00	本会議(初日)
9月 9日(水)	10:00	本会議(一般質問)
9月10日(木)	10:00	本会議(一般質問)
9月11日(金)	9:30	本会議(一般質問予備日)
9月14日(月)	9:30	総務企業委員会
9月15日(火)	9:30	教育民生委員会
9月16日(水)	9:30	予算決算委員会
9月24日(木)	10:00	本会議(最終日)

編集後記

春以降数か月間、新型コロナウイルスの全国的な広がりにより一喜一憂する日々が続いていますが、市民の皆さんの心と体は保たれていますでしょうか。

きちんとした情報を正確に、早くお知らせするのも議会の仕事の一つです。

これからも議会だよりを通して安全安心な生活を送っていただくための情報発信を行ってまいりたいと思います。

(山中)

議会だより編集委員会

委員長 三好 睦子
副委員長 山中 佳子
委員 藤井 敏通
" 岡村 隆
" 山下 安憲
" 石井 和幸